

2025 年 12 月 12 日

株 式 会 社 三 菱 U F J 銀 行
三 菱 U F J 信 託 銀 行 株 式 会 社
三 菱 U F J モ ル ガ ン ・ ス タ ン レ ー 証 券 株 式 会 社

「MUFG Retirement Guide」発行および「MUFG シニアライフ研究所」新設について

株式会社三菱 UFJ 銀行（取締役頭取執行役員 半沢 淳一^{はんざわ じゅんいち}、以下 三菱 UFJ 銀行）、三菱 UFJ 信託銀行株式会社（取締役社長 窪田 博^{くぼた ひろし}、以下 三菱 UFJ 信託銀行）および三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社（取締役社長 小林 真^{こばやし まこと}、以下 三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券）は、リタイア世代の豊かで充実したセカンドライフの実現に向けて、リタイア後に起こり得るイベントの全体像を可視化し、各フェーズで検討・対応すべき事項を体系的にまとめたリタイアメントガイドを、国内金融機関では初めて発行します。

併せて、リタイア後におけるセカンドライフやシニアライフに関する基礎研究・調査を行う機関として、2026 年 4 月に三菱 UFJ 信託銀行に「MUFG シニアライフ研究所」を新設します。

1. 目的

日本社会の長寿化が進み、社会や価値観は大きく変化し、リタイアメントの在り方も見直されています。今後、日本社会に占めるリタイア世代の人口割合は増えていくなかで、リタイア世代の活力が日本社会全体の活力を左右するといっても過言ではありません。

日本ではこれまでリタイアメントを「社会的立場の引退」や「老後・余生」といった「人生の活躍が終わった時間」と捉える傾向にありましたが、これを「新たな挑戦が始まるスタート」と前向きに捉え、一人ひとりがこれまで培ってきた知識や経験を踏まえ「自分自身の新しい価値」を自由に切り開き、「個としての豊かさ」をめざしていく社会の実現に向けて支援していくものです。

これらの取り組みを通じ、社会課題の解決や金融サービスブランド「エムット」がめざす「お客さまの豊かな人生の実現を生涯にわたってサポート」する世界観を推し進めます。

「社会的立場の引退」から「個としての豊かさ」へ

Before

リタイアメントは、長く続いた社会的な役割から離れるひと区切り。一線を退くことは老後・余生といった「社会的立場の引退」とみなされる傾向がありました。



引退という名の区切り

会社人生を終える中、「シニア」「シルバー」と呼ばれることに戸惑いを覚える。社会的な役割を終えた存在であることを意識させられ、自らの立ち位置を模索する。



社会との接点の希薄化

長年担ってきた責任や社会貢献の場から少しずつ距離が生まれ、気づけば社会とのつながりが希薄になっていく。その距離感が、自身の存在意義への不安として現れる。



変化していく人との関係性

所属する組織や肩書がなくなること、関係性が改めて「個」に戻る。所属や立場を越えた新しい関係が芽生える一方、新たなコミュニティで戸惑いや孤独感を感じることもある。

After

リタイアメントは、自らの人生を再デザインする時期。社会に貢献する形も、自分らしい幸せを追求する形も、すべては自分自身で選び取ることができます。



新しい章の始まりを感じる

リタイアは引退というだけでなく、新たな「始まり」。さらなる成長や新たな挑戦の機会へと心を開き、自分の時間を自由に使う期待と希望が広がる。



“個”として社会とつながる

組織を離れても、社会とのかかわりは続く。自分ならではの経験や知恵を活かし、地域社会や次の世代に貢献できる場所は見出せる。



つながりの再構築

家族や友人との関係を見つめ直しながら、趣味や関心ごとを通じて、多様なつながりを育む。居心地の良い居場所が、人生の豊かさとなっていく。

2. 取組概要

①「MUFG Retirement Guide」の発行

リタイアメントガイドとは、セカンドライフに起こり得るイベントの全体像を可視化し、各フェーズでの検討・対応すべき事項を体系的にまとめたものです。既に米国の主要金融機関ではリタイア前後における資産形成管理などの金融面の知識を中心に整理したツールとして定着しているものの、国内金融機関では初めての試みとなります。

今般、三菱 UFJ 銀行、三菱 UFJ 信託銀行および三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券の知見を結集して、金融面のみにとどまらず、リタイア時やセカンドライフにおける「心情面の変化」や、社会性課題（自己実現や社会とのつながりなど）および身体性課題（健康や認知能力など）にも言及します。読者の共感を促し、一人ひとりが「自身の退職観」や「人生の豊かさとは何か」を考える“きっかけ”を提供します。

長く社会の第一線で活躍してきた方々が、これからの人生をどう歩むか。これまで培ってきた知識や経験を踏まえ、自分らしい「豊かな人生」を主体的に選択する新たなスタートとして捉える観点も訴求した内容としています。

なお、後述の「MUFG シニアライフ研究所」の調査・研究内容や、その他の最新の動向などを踏まえて、「MUFG Retirement Guide」は今後定期的に更新していく予定です。

<表紙>



<目次>

1 人生の“豊かさ”とは

これまでどんな価値観を大切にして生きてきたのか。
改めて自分の人生を振り返り、これからの生き方を選ぶ礎となる、
あなたにとっての「豊かさ」を問い直します。
セカンドキャリアを形成し、今なお活躍の場を広げる村木厚子さんに、
そのヒントとなるお話を伺います。

2 人生後半の“ライフ戦略”

退職後の“自由な時間”をどう過ごしていくのか。
資産設計は、その選択肢を大きく広げる鍵となります。
ただ残すだけではなく、どのように活用すべきかを早期に
考えることの重要性について、退職後に直面する現実や
その傾向を取り上げながら紹介します。

3 リタイア前の資産準備

退職に向けて、行うべき準備とは何か。
今ある資産を活用して退職後の人生を支えるために、
資産に関する取り組みや、設計・運用における
リスクの考え方を整理します。
そして、資産形成と仕事の両立という観点から、
資産を育てる方法を学びます。

4 リタイア後の人生を考える

退職後の生活を自分らしく楽しむために、
次の世代へ自分の生きた証を遺すために、
どのようなことができるのか。
住居・介護・相続など、先送りにしてしまいがちな
テーマから「レガシー」まで、さまざまな角度から
定年後の生き方について考えます。

<「MUFG Retirement Guide」掲載ページへのリンク>

三菱 UFJ 銀行	https://www.bk.mufig.jp/sonaeru/secondlife/retirementguide/index.html
三菱 UFJ 信託銀行	https://www.tr.mufig.jp/ippan/lineup/
三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券	https://www.sc.mufig.jp/learn/index.html

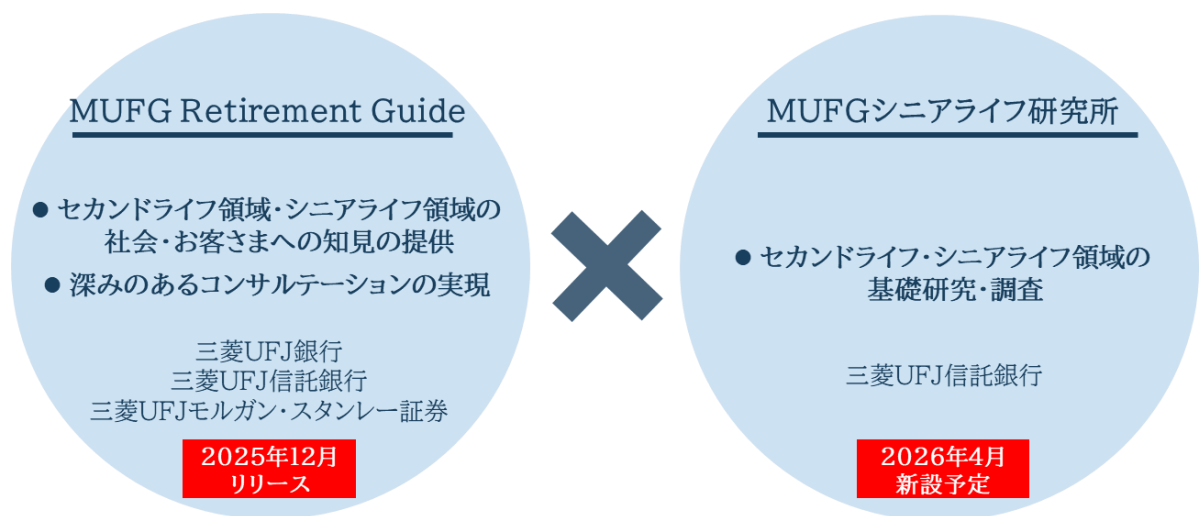
※各業態で掲載している「MUFG Retirement Guide」は、最終頁「Contact and Services」の記載以外は、同じ内容です。

②「MUFG シニアライフ研究所」の新設（仮称・2026 年 4 月予定）

リタイア後における「人生の豊かさ」を上流から本格的に探求し、MUFG グループにおけるセカンドライフやシニアライフに関する基礎研究・調査を行う機関として、2026 年 4 月に三菱 UFJ 信託銀行に「MUFG シニアライフ研究所」を新設します。

リタイア後は「新たな挑戦が始まるスタート」とともに、健康、身体の衰え、認知症、資産の管理・承継など、リタイア世代固有の新たな不安や悩みにも向き合うことになります。日本におけるセカンドライフやシニアライフについて多角的な視点で観察・考察し、社会に対して深みのある情報を発信する予定です。

また、最新の調査・研究内容を「MUFG Retirement Guide」に定期的に反映するとともに、「MUFG Retirement Guide」全体の監修も担うなど、「MUFG Retirement Guide」と連動した運営を行ってまいります。



以 上